

「川西市立幼稚園・保育所のあり方について」これまでの ご意見・ご提案 について
(平成26年度 第6回 会議時点)

資料 1

※備考欄に「新」と記載のあるものが新たに追加された意見です。

論点 1		市立幼稚園・保育所の役割についてどのように整理するか	
	項目	内容	備考
1	幼稚園	<p>市立幼稚園はなぜ子どもが集まらないのかをまず考え、その課題を明白にした上で各園個別に対応策を考えるのがよいかと思う。園によっては課題を解決することで利用者が増える所もあるだろうし、それでもなおかつ、問題の残るところについては他の道を考える。</p> <p>選択肢としては</p> <p>①三歳児クラスを増設して継続 ②保育園として生まれ変わる ③民間委託 ④廃園 etc.</p>	
2	幼稚園	<p>存続の必要はあるが、大きな転換が必要。定員縮小(職員削減)、保育領域の拡大など思い切った改革を(ただし、市民は3歳児保育を望んでいる)。</p>	新
3	幼稚園	<p>公立幼稚園が定員割れているのはよく分かっているのですが、加茂幼稚園が3年になって定員が増えたのであれば、3年にしていただけだと思います。</p>	
4	幼稚園	<p>加茂幼稚園で3歳児保育をすると、ある程度定員を充足しています。他の公立の幼稚園では3歳児保育がなぜできないのか。3歳児保育をして、ある程度定員を充足して、耐震工事等をすると意義はあると思います。</p>	
5	幼稚園	<p>前回の会議の中で、公立幼稚園の3年保育導入についての考え方を聞かれていた委員がおられましたが、その方向性については、事務局(教育委員会)からはあまり具体的な考え方は示されなかったように思います。 私立幼稚園との関係もあるのかとも思いますが、もう少し市としての考え方を示してほしいと感じました。</p>	
6	幼稚園	<p>公立の幼稚園が3年保育を実施するということは、アンケート結果でも幼稚園教育を求める保護者が多いと出ていたので、そこに質の高い教育を求めてくる方が多いと思います。 その意味は、公立と私立の幼稚園が培ってきたことが大事にされてきたことが浸透しているのだと思います。 3年保育を実施するときに私立幼稚園との園児数のバランスも一つは大事だと思います。その中でやってきたバランスなのか、3年保育に市の資金が投入できずに来たバランスなのか、その要因も探りながら公立を3年保育にしていこうと考える。</p>	
7	幼稚園	<p>公立幼稚園の定員が少なくなっている理由に、3年保育の私立幼稚園に入れる保護者が増えたからだと思うので、公立幼稚園でも3年保育を実施すれば、定員も増えてくるのではないのでしょうか？ 保護者代表だけでなく、もっとたくさんの保護者の方からも意見を聞くべきだと思います。</p>	
8	幼稚園	<p>全国の幼稚園のほとんどが長時間の預かり保育を実施しています。 そのニーズがある中で、幼稚園教育要領の第1章にも預かり保育の教育の意義が書いてあるのは、今の就学前の教育の中で幼稚園にも預かり保育をすることを考えましようということだと思います。 そういう意味でも川西市の公立幼稚園が預かり保育をしていないということも、今から変えていける部分ではないでしょうか。</p>	
9	幼稚園	<p>特別支援が必要な幼児が増えている中で、そういう幼児への教育の提供、子育て支援、親育ちの場として、毎日の送り迎えで教師と話をしながら子どもの育ちや親の不安への対応をしています。</p>	
10	幼稚園	<p>療育施設には入らないけれど、加配が必要な子どもが比較的公立幼稚園へ就園、入園を希望されている。公立幼稚園の存在意義は特別支援の部分で非常に強い存在意義を示しているのではないかと。</p>	新

11	幼稚園	教育・保育内容	公立幼稚園では一人一人の発達に応じて特性に合わせた保育、自発的に自分で選んで遊ぶ・動ける力を身に着ける保育を行っています。 小学校以降の生きる力の育成につながっているのではないかと。 また、小学校生活の先取りではなく、自分で考える創造的な思考とか主体的な態度の育成を培っています。	
12	幼稚園		幼稚園に入園希望の親は、料金ではなく教育内容を重視して園を選択する例が多いので、市立幼稚園の定員回復には教育内容改革が求められる。 それができないのであれば、認定こども園として保育要素を重視した方向への切り替えが望まれる。	
13	幼稚園	地域のつながり	特色として小学校との連携というのはこれからどんどん進めていかなければなりません。児童のみの交流ではなく、教師同士の交流をしている園もあります。	
14	幼稚園		培ってきた歴史があり、前身は地域の自治会立、婦人会立のところもあり創立70周年を迎える幼稚園もあります。これまで、地域の幼稚園として根ざしてきた実績があります。	
15	幼稚園		市民の選択肢が増えるということは、公立幼稚園の存在価値や意義があるものと思っています。	
16	幼稚園		いろいろな人の意見を聞いたのですが、どうして市立幼稚園の気がないのかという給食・バス・預かり保育ということが出ました。 逆に考えるとお子さんと手をつないで通園する時間を大事にする人は公立を選ぶだろうし、親のニーズが多様化している中で、公立幼稚園を選ぶ人もいないということも否めないということが出ました。	
17	幼稚園	ニーズの多様化	幼稚園・小学校・中学校・行政との連携を考えると、公立幼稚園の役割はありますので、園児が少ないから無くすのではなく、選択肢の一つとして保護者や子どものニーズに対応する形として残してほしい。	
18	幼稚園		教育内容や料金面で公立の良さはあるものの、やはり多様化するニーズに対応できてこなかったのは公立であるがゆえの保守思考があったからではないか。柔軟性のある考え方で魅力的な園作りをすれば利用者は必ず増えると思う。 他の市町村に何百人もの幼稚園児が流れている現実を直視し、公民一体となって、川西市の子ども達は川西市の保育園や幼稚園に通わせたいという強い思いが大切。	
19	幼稚園		多様化の進む現代社会では、子育て世帯のニーズも多様化している。多様な選択肢を作る必要はある。 採算性も無視はできないので、市立幼稚園は過渡期にあると思う。3歳児保育、認定こども園化の推進などの本格導入を望む。	
20	幼稚園	廃園・民間委託	市立幼稚園それぞれの状況に応じて、対応策は異なってくると思われるが、充足率が30%にも満たない幼稚園は、その地域に他に幼稚園が存在するのであれば、廃園という道を考えることも必要だろう。 ただその地域に保育園が足りないとすれば、幼稚園を保育園にして民間委託する方法も考えることができる。	
21	幼稚園	保育料	料金が安いということで助かるという保護者もいます、その一つを見ても簡単に市立を無くしたり、民営化してしまうのも良くないと思います。	
22	幼稚園	税金	一番気になるのが、6割近くが空きになっているという幼稚園をこのままにしているのかということです。 公立の幼稚園ですので、多額の税金が投入されているということからすると、そのまま看過することはできません。	
23	保育所	課題を抱える家庭の対応	公立保育所が担ってきた役割・責任というのは、いろいろな課題を抱えた子どもや家庭の受け皿として、支援を公立の良さとしていろいろな公的なネットワークを活かして行うということが役割であると思います。	
24	保育所		公立保育所同士ですごく連携されている常を感じています。 同じ公立なので研修内容も同じく学ばれているし、そういう意味では、支援が必要な子どもであったり支援が必要な家庭に対する対応というところでは、公立保育所の存在意義というのは大きなものがあるのではないかと感じています。	

25	幼稚園 保育所	教育・保育内容	保育については公立幼稚園も保育所も同じように小学校に上がった時に主体的に動けるようにとか、家庭的な背景について考えているという土台は同じではないかと思えます。	
26	幼稚園 保育所	小学校との連携	小学校との連携をしていく部分が大いにかと思えます。隣接していたり、その校区の小学校へ通うという事が多くあり、また、国の動きとして5歳児を義務教育にするとか無償化とか連続性をとかいう議論が始まりかけている中で、カリキュラムや保育と教育の内容の接続を考えていったときにリーダーになっていけるのは公立の幼稚園、保育所が立場としては必要です。	新
27	幼稚園 保育所	保育所・幼稚園 として存続	2012年8月、三党合意で児童福祉法24条1項が残りました。これは、保育所保育の存在意義があることで残ったのだと考えます。このことから考えますと、公立保育所は、保育所そのまま残していくべきものであると思えますし、幼稚園もまたそのまま残すべきです。	

論点2	耐震老朽化対策と一体化について
-----	-----------------

	項目	内容	備考
1	幼稚園 保育所	市立幼稚園の定員割れ、保育所の待機児の問題、耐震化の問題等を考え合わせて、幼稚園と保育所を一緒にし、認定こども園化することで「子どもの最善の利益」が得られるのか等、他市の公立間の認定こども園の視察なども含めて、その上で十分に議論する必要があると思えます。	
2	幼稚園 保育所	保育所であれば保育に欠けるという要件が、認定こども園になってなくなった時に、地域に川西市の就学前の保育を受けられる施設として、保育所と幼稚園が一体化した認定こども園というのも考える方向としては大事ではないかと思えます。 ただ、今すべてをそうするという事は論外だと思えます。	
3	幼稚園 保育所	市立保育所と幼稚園の今後の在り方について、これから本格的な検討に入っていく中で、公立保育所で働くものとして、毎年のようにたくさん利用をしていただき、保育所の意義や責任を感じさせてもらっています。その中で今回の提案理由でもある施設の老朽化や耐震の問題については現場としても大きな検討課題と感じています。 その課題の解決策の一つが、認定こども園という形かとは思いますが、量の見込みや確保方策の数字だけでは、具体的にどの施設を認定こども園化し、どの施設に対して老朽化等の課題をクリアにしているのかが見えにくいです。前回の会議の中でも意見が出たようにもう少し市の方向性を具体的に示して頂けたらと思えます。	
4	保育所	市立保育所の老朽化の対応は、深刻な問題である。長期休暇もなく、日々大切な生命を預かっている保育所なので、安全で清潔な環境の確保のため、効率よく手抜きせず、子どもたちにとって安全で楽しい保育環境を整備することは急務である。	
5	保育所	(保育所施設が老朽化しているので) 自分の子どもが日々過ごす環境に対して不安を持って、預けるからにはいい環境をと思う保護者の気持ちはその通りだと思えます。	
6	保育所	毎年定員をみだし、地域コミュニティとも密接な関係があり、その存在意義は大きい。経費はかかっても老朽化、耐震化対策を早期に進めるべきである。その際に、子どもの安全確保、環境保持も併せて考えてほしい。	新
7	幼稚園 保育所	認定こども園という新しい形を市としてやっていくことについて、色々課題や問題点を聞いたり見たりしていることも事実ですが、保育所と幼稚園機能が一緒になったというような単純なものではなく、全く新しい一つの形態として関わる私たちが考え方を変えていかないといけないと感じています。 ただ今までの保育所保育で培ってきた、子どもの生活を24時間から見ていくことや、遊びや生活の中で生きる力の基礎を培う教育をしてきたことなど基本的な考え方は大切にしていながら、さらに充実させていかなければならないと思っています。 新しい形を取り入れる事は、ともすれば私たち大人サイドで物事見てしまいがちになりますが、子どもにとってより良い環境を提供できるように市もしっかり環境を整えていってほしいと思えます。	

資料提供	市立・私立幼稚園のバリアフリーの状況(障がい児保育)、夜間保育、延長保育、預かり保育等の特別なニーズのある保育についての状況をあわせてお示し頂きたい。	第4回 資料5
	耐震工事にかかる費用と日数(期間)をご教示いただきたい。	第5回 資料2
	保育所や幼稚園を赤字にしない為の分岐点(定員に対する充足率)をご教示いただきたい。	データが ありません
	ぜひ、市立幼稚園・保育所の先生方が将来ビジョンを検討の上、ご意見や構想を策定の上、子ども・子育て会議に提出いただき様々な角度から検討し方向性を決めていきたい。	調整中
	市立幼稚園・保育所が私立よりも優れている点、先進的に実施している点を整理して教えていただきたい。	第5回 資料3
	どちらも活かすということで認定こども園となるのかと思うのですが、この新制度の認定こども園がどういったものかということをお聞きしたいです。従来との違いを教えてください。	第5回 資料4
	阪神地区7市1町の公立保育所・幼稚園の状況(3年保育の状況、充足率、耐震化状況、存続状況等)や今後の方向性を調査頂き、比較一覧を作成願います。	各市町 照会中